






(1) 事業実施報告書詳細

学校名 大館市立桂城小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	<p>1 大館市の現状を知る。</p> <p>① 人口減、少子高齢化が著しいことを知る。</p> <p>② 将来、消滅するかも知れないことに気づく。</p>	 <p>観光協会の人講話</p>	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県が人口減少率、少子高齢化率日本一であることに驚いていた。 大館市が消滅するかも知れないことにショックを受けていた。
8	教室 大館市	<p>2 大館市について調べる。</p> <p>① インターネットや資料で大館市について調べる。</p> <p>② 大館市には他県に自慢できるものがたくさんあることに気づく。</p> <p>3 自慢できるものについて詳しく調査する。</p> <p>① 現地調査をする。</p> <p>〈忠犬ハチ公〉 誕生祭に参加し、忠犬ハチ公への理解を深める。</p> <p>〈大館樹海ドーム〉 大館産の秋田杉を使用した世界最大級の木造ドームを見学する。</p> <p>〈大文字祭り〉 大館最大のイベントに参加する。</p>	 <p>インターネットで調査</p>  <p>忠犬ハチ公誕生祭に参加</p>  <p>大館樹海ドーム見学</p>  <p>大文字祭り参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大館市には、全国に誇れるものがたくさんあることに気づくことができた。 全国に誇れるものを詳しく調べるために、見学に行ったり、詳しい人の話を聞いたりすることにした。 ハチ公誕生祭に参加し、ハチ公が大館の人に親しまれていることを知った。 樹海ドームでは、以前はSMAP等のコンサートが行われていたことに驚いていた。 全員で大文字踊りに参加、大館愛を育んだ。

		<p>② 専門家の話を聞く。 〈大館曲げわっぱ〉 大館曲げわっぱ協会 理事長の話を聞く。 〈きりたんぼ〉 きりたんぼ鍋で有名 な料亭「北秋クラブ」 社長の話を聞く。 〈比内鶏（比内地鶏）〉 駅弁「鶏飯弁当」で 有名な「花善」社長の 話を聞く。</p>	 <p>伝統工芸士の講話</p>  <p>花善社長の講話</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 曲げわっぱには長い歴史があり、引き継がれてきたことを知った。 • わたしたちの身近にある「きりたんぼ」と「比内地鶏」が全国的に有名であり、地域活性化戦略の中心になっていることを知った。
4	教室	<p>3 大館を活性化する方法を考える。 ① 話し合いで、大館市の観光パンフレットを作成することになる。 ② 修学旅行先（函館市）で配布することになる。 4 修学旅行班で大館のパンフレットを作成する。</p>	 <p>話し合いの様子</p>  <p>パンフレット作成の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 消滅するかも知れない大館を活性化するために、わたしたちにできることについて話し合った。大館のよさをアピールすることになった。 • アピールの場として、修学旅行を活用することになった。
2	函館市	<p>5 修学旅行先（函館市）で大館をアピールする。 ① 修学旅行先での自分たちの行動で大館をアピールする。 ② 修学旅行先で、作成したパンフレットを配布する。</p>	 <p>修学旅行結団式</p>  <p>パンフレット配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 修学旅行結団式で自分たちの行動で大館のよさをアピールすることを誓い合った。 • 修学旅行先（函館市）で、自分たちで作成したパンフレットを配布し、大館に来てもらうよう呼びかけた。

【完成した観光パンフレット】



(2) 学習指導案（計画段階の指導案。（修正版でも可））

指導にあたり作成された書類で、下記の項目に含まれているもので構いません。

様式は不問。下記は一例。その他授業実施に作成された資料等添付してください。

学習指導案（計画段階の指導案）

単元名 (全8時間)	「地域景観プランナーになろう」 ～ふるさと大館のよさを発信しよう～
学習のねらい	1 ふるさと大館の景観、歴史、建物、お店、人等を調べることで、ふるさとへの愛着心を育てる。 2 ふるさと大館の現状を把握し、自分たちの力で活性化しようとする意欲を持たせる。
学習内容	1 大館市の現状を知る。(出会う) 2 大館市の調査をする。(発見する) 3 大館市のパンフレットやチラシを作成する。(考える) 4 修学旅行先(函館市)で大館をアピールする。(発信する)
参考資料	・社会科副読本「わたしたちの大館市」、大館市勢要覧、観光パンフレット
準備品	・デジタルカメラ、ビデオカメラ、プロジェクター、地域の地図、筆記用具等
実施場所等	・教室、大館市内、函館市内(北海道)
協力施設	・大館市役所、大館駅、秋田犬会館、大館樹海ドーム、大館市立図書館、大館郷土博物館、秋田三鶏記念館、大館曲げわっぱ体験工房等
協力者	・観光協会理事長、曲げわっぱ協会理事長、駅弁花善社長等

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	<p>1 大館市の現状を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減、少子高齢化が著しいことを知る。 将来、消滅するかも知れないことに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県の人口予想図を提示し、秋田県の人口が急激に減少していることに気づかせる。 秋田県は、人口減少率、少子高齢化率で日本一であり、大館市は、消滅可能性都市であることを知らせる。 	活動への意欲（観察）
2	<p>2 大館市の調査をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大館市の他県に自慢できるもの（歴史、景観等）をインターネットや資料で調べる。 調べたことを発表し合い、共有化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで調べることによって、大館市には、他県に誇れるものがたくさんあることに気づかせる。 他県に自慢できるものとして、忠犬ハチ公・大館樹海ドーム・大文字祭り・大館曲げわっぱ・きりたんぼ・比内地鶏を取り上げたい。 学区内にあるものについては、実際に見学させたい。 	課題追求能力（観察）
4	<p>3 大館市を活性化する方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他県に自慢できるものを活用して、大館をアピールする方法について話し合う。 大館市をアピールする観光パンフレット等を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで調べたことを生かして、活性化する方法を考えさせるようにしたい。 活動として、大館観光パンフレットづくり、修学旅行でのアピールが予想される。 修学旅行班で協力し合って、パンフレットを作成させる。 	表現力（作品）
1	<p>4 修学旅行先（函館市）で大館をアピールする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行先で、作成したパンフレットを配布する。 修学旅行先での行動で大館をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行先で、大館観光パンフレットを配布することをきっかけに、大館をアピールすることで、地元の人や観光に来ている人との交流を深めさせたい。 自分たちのよい行動が大館をアピールすることになることに気づかせたい。 	コミュニケーション能力（観察）

<留意点>

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・「景観まちづくり学習」を通して、ねらいである「景観に関心を持ち、良好な景観まちづくりに関わる意識を持った人づくり」を達成することは勿論のこと、子どもたち一人一人を人として成長させたいと考えて実践した。
- ・グループ作りは、普段の学校生活で活動している生活班ではなく、修学旅行をより有意義なものにすることをねらって、修学旅行グループとした。子どもたちは、この活動と修学旅行を通して大きく成長した。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・この事業を実施するにあたり、「ふるさと大館への愛着心を育てること」「自分たちの力でふるさと大館を活性化しようとする意欲を持たせること」の2つをめあてに設定した。1つ目の「ふるさと大館への愛着心を育てること」は十分に達成できたが、2つ目の「自分たちの力で大館を活性化しようとする意欲を持たせること」は、短い時間では難しいと感じた。
- ・たくさんの施設を見学したことによって、見学施設との日程調整や打合せ等に、たいへんな時間と労力を要した。

(3) 児童の反応

- ・この学習の導入で、観光協会の理事長さんから「大館市は将来、消滅するかもしれない」という話を聞いたときの子どもたちの驚きは大変なものであった。その驚きが、ふるさと大館への愛着心を育て、学習への意欲につながったように思う。子どもたちは、ふるさと大館の活性化について真剣に考え、観光パンフレットを心を込めて作成し、修学旅行先（函館市）で大館を一生懸命アピールしていた。
- ・自分たちのよい行動で、ふるさと大館をアピールしたいという発想と取り組みがとても、よかったと思う。子どもたちは修学旅行中、大館の親善大使にでもなったように行動し、大館をアピールしていた。そして、修学旅行を通して、一人一人が大きく成長できた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・学級担任2名（市外出身者）、担任外教諭2名（地元出身者）によるTT指導で授業を行った。指導者自身が、大館の歴史や文化、地域を知るよい機会となった。今後、学んだことを、各教科の地域素材の教材化等に生かしていけそうである。
- ・今回の学習では、たくさんの施設や専門家の方に協力をいただいた。打合せや当日の調査協力で地域の方や専門家の方とかかわることによって、学校と地域の連携が深まった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・昨年度まで「景観まちづくり学習」を社会科や総合的な学習と関連させて実践してきたが、今年度は、さらに学校行事（修学旅行）とも関連させて行うことができた。今後も継続して、実践範囲を広げていきたい。
- ・「景観まちづくり学習」を継続して取り組むことで、子どもたちや保護者が、自分たちの住んでいる地域を見直すきっかけにしていきたい。